

株式会社サンマルクホールディングス  
プレスリリース

【本社】〒700-0952 岡山県岡山市北区平田 173 番地 104

【赤坂事務所】〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-5 Daiwa 赤坂ビル 4F

2024年12月19日

◎「最高のひととき」の創造に向けた人材育成◎

## 倉式珈琲店のサイフォニストが ジャパンサイフォニストチャンピオンシップで3位入賞

株式会社サンマルクホールディングス（本社：岡山市、代表取締役社長：藤川 祐樹、以下「サンマルクHD」）が全国でサイフォン式コーヒーを展開する「倉式珈琲店」イオンタウン周南久米店のサイフォニストである松嶋 由美子は、一般社団法人日本スペシャルティコーヒー協会が主催するジャパン サイフォニスト チャンピオンシップ（JSC）2024において、第3位に入賞しました。

JSCは、2003年にジャパン バリスタ チャンピオンシップ（JBC）のサイフォン部門として誕生し、年々規模を拡大し、2007年からはJBCから独立し、JSCとして開催されています。競技では、「サイフォン」と呼ばれるコーヒーの抽出機を用いて、通常の「ブレンドコーヒー」と、コーヒー以外の素材を加えた競技者オリジナルのコーヒーである「シグニチャービブレッジ」の2種類のコーヒーを時間内に抽出する技術で競います。「サイフォン」で入れるコーヒーは、通常のドリップ式に比べて抽出プレが少ないため、味の再現性が良く、抽出時にコーヒーの香りが強く出ることから、コーヒー愛好家の間では古くから人気のある抽出法です。その一方で、高い抽出技術と経験が必要となり、提供までの時間がかかることもあり、サイフォン式のコーヒーを提供する店舗が少ないことの一因となっています。

倉式珈琲店は、2008年に第1号店を開店し、豆の選定から抽出方法の研究・改良により、これまでチェーン店では難しかったサイフォン式コーヒーの提供を実現しました。それと同時に、このサイフォン式コーヒーを提供できるサイフォニストを養成すべく、社内の教育体制を構築しており、その一環として、当社サイフォニスト3名がJSCに参加しました。その中で松嶋 由美子が、本年10月10日に東京ビッグサイトで行われた決勝大会に進出し、松嶋はブレンドコーヒーに加え、地元山口県長門名産の「ゆずきち」や、乾燥梨である「いらいた梨」を用いたオリジナルのシグニチャーコーヒーを提供しました。

サンマルクHDは、店内調理によるこだわりのパンと一杯立てコーヒーを提供する「サンマルクカフェ」、サイフォン式コーヒーによる味と香りの店内空間を追求した「倉式珈琲店」に加え、京都喫茶文化の保存・継承しつつ独自の喫茶文化を創造する「喫茶マドラグ」を2022年に買収し、多面的にコーヒー文化の発展を図っています。当社は今後も、企業理念である「私たちはお客様にとって最高のひとときを創造します。」を追求し、コーヒーを取り巻くさまざまな場面において「最高のひととき」を創造していきます。



以上

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社サンマルクホールディングス 経営企画室（広報 IR 担当） TEL03-5544-8647